

1人1台端末の活用による実践事例 (小・中学校用)

学校名	倉敷市立万寿小学校	実践者名	岡田 稔
教科	算数	学年	第2学年
活用内容	自分の考えを表す 考えを交流する	実践日	令和4年12月2日
		授業活用段階 (岡山県版)	Stage 2
単元・内容等	かけ算(2) ものの数え方をかけ算を用いて表し、説明する。		

活用の概要(目的・活用場面・使用アプリ名を含む)

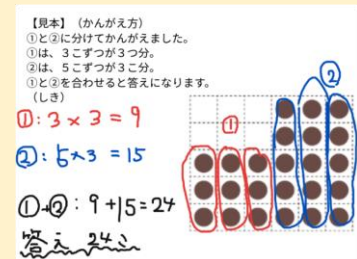
(1) 問題文を読み、めあてをつかむ

- 丸が全部で24個あること、1つ1つ数えるだけでなく、いくつかのまとまりを作ること
でかけ算の式で表すことができることを確認し、めあてにつなげる。

めあて：かけ算をつかって、くふうした数え方を考え、せつ明しよう。

(2) 自分の考えをもつ。

- ロイロノートに配付されたアレイ図に考え方と式を書き込み提出箱に提出する。
- 自分の考えがまとまらない児童は、担任から送られてきた見本を参考にできるようにする。

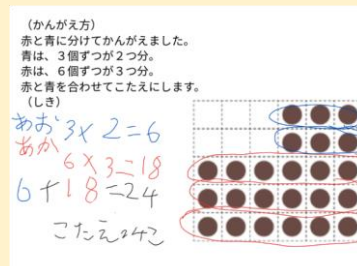


(3) 考えを共有し、話し合う。

- 児童の書き込んだシートを隣同士でタブレットを見せながら考えを説明する。

(4) 学習のまとめをする。

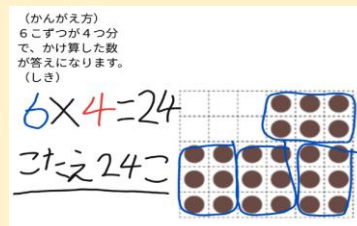
- 1まとまりの数をかえると同じ数の合計でも
様々な説明ができたことを確認しまとめにつなげる。



まとめ：同じ数のまとまりにちゅう目すれば、
かけ算をつかってまとめることができる。

(5) 本時の学習のふりかえりをする。

- 友達の説明を聞いて、どのような学びがあったか、
ロイロをつかって説明したことによって、どんな
よさがあったかという視点で学習をふりかえる。



実践者の手ごたえ	児童生徒の主な反応や声
答えは24と分かっているので、どうまとめればわかりやすい説明になるかを考えながらロイロ・ノートを活用して、図に色分けしたり書き込んだりすることができていた。式だけでなく考え方も書くようにしたのでめあての「説明しよう」の達成に近づいていたと感じた。	児童の感想 「友達の考え方に触れることで、自分の考えと比べることができた。」 「色分けや説明の仕方の中で次に自分が説明するときには〇〇さんの書き方を真似したいと思った。」 「ノートに書いたことを説明するだけでなく、ロイロ・ノートで作成した図と説明を見せながら発表したので伝えやすかった。」